

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	建設機械施工における技術向上の推進		担当部局庁	総合政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度/平成25年度		担当課室	公共事業企画調整課		課長 安藤 淳		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 30 社会資本整備・管理等を効果的に推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	安全・安心のためのソフト対策推進大綱				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の建設業を支える専門工事業の技能者については、団塊世代の大量退職・少子高齢化による担い手不足、公共工事の減少による技能者育成の場の減少等により、とりわけ、災害時に活躍する無人化施工等の高度な施工技術を有する有能な技能者の確保が課題となっている。また、近年建設業の生産性や施工の安全性等の向上を目的としたICT建設技術が普及しつつあるが、建設機械施工全体の技術の向上を図るため、これら技術の活用に必要な技能、ノウハウを収集するとともに、新たな技術に対応できる技能者の育成を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	当該施策の具体的方策として、専門技能育成に効果的な育成メニューと技能達成度を評価するための評価方法を開発するとともに、技能修得に意欲的な若手に技能修得の場を発注者から提供することで、高度な技能者の育成を行う仕組みを検討する。また、中小規模の工事を受注するような地場建設業者も含めて建設機械施工全体の技術力の向上を目指し、ICT建設技術の活用に必要な技能、ノウハウについて、収集、検討を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	9		
		繰越し等	-	-	-			
		計	16	27	19	9		
	執行額	14	24	18				
執行率 (%)		90%	88%	99%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	高度な技能者の育成を行うプログラム(案)の周知			%	-	-	-	100
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	高度な技能者の育成を行うプログラム(案)の作成			%	-	-	100	-
				%	-	-	100%	()
単位当たりコスト	-		算出根拠					
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.3百万円						
	職員旅費	0.2百万円						
	委員等旅費	0.2百万円						
	社会資本整備・管理効率化 推進調査費	8百万円						
	計	8.7百万円						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	高度な技能者の育成を行う育成プログラムのうち、技能達成度を評価するための評価方法は公平性が求められ、国が実施すべき重要な事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業目的に沿って予算を執行しており、その執行状況等を適切に把握・確認している。入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である企画競争有識者委員会により審議されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	高度な技能者の育成を行う育成プログラム(案)を作成しており、今年度現場試行を通じて周知とブラッシュアップを図る予定である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である企画競争有識者委員会により審議していただいている。また、契約している相手方から直接報告書を提出させることにより事業実施内容を把握している。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
抜本業的全体改善の	事業終了のため事業廃止とするが、事業の成果をもとに技能者の育成訓練を行った後に事業効果を十分に検証すべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—	25年度で事業完了予定のため廃止					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年	25	平成24年	30

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省
9.3百万

諸謝金	0.4百万円
職員旅費	0.2百万円
委員等旅費	0.2百万円

専門技能者育成に効果的な育成メニューと技能達成度を評価するための評価方法を開発するとともに、技能修得に意欲的な若手に技能修得の場を発注者から提供することで、高度な技能者の育成を行う仕組みを検討した。

【企画競争入札】

(財)先端建設技術センター
8百万円

育成プログラム作成のための、無人化施工事例の収集、効果的な技能者育成のための育成プログラムに盛り込むべき項目の整理、高度な技術を有する技能者の情報システムの機能要件の整理を行った。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人件費	8			
計		8	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)先端建設技術センター	無人化施工技術を活用した建設機械機器の操作・運用に係る技能について、無人化施工事例集の作成、効果的な技能者育成のための育成プログラムの開発、高度な技術を有する技能者の情報システムの機能要件の策定に係る調査検討を行う。	8	2	99.86%
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-